# 渡部（わたなべ）りょう通信

発行
渡部りょうとつくる平塚

平塚市代官町13-11
電話0463-79-8497
FAX0463-79-8498
info@watanabe-ryo.net
https://watanabe-ryo.net

1979年生まれ（43歳）、二児（８歳と１歳）の父。花水小、浜岳中、江南高校、神奈川大学卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。
2015年にステージ４の舌がんを患い、舌の半分と首のリンパ節を切除する大手術を乗り越える。
2017年に全日本スノーボード技術選手大会準優勝。平塚市職員を経て、2019年に市議会議員に初当選。教育民生常任委員会委員。

## 市役所駐車場の利用金体系が変わります
### 60分無料から90分無料へ

タイムズ24株式会社との市役所・文化ゾーンの駐車場の契約が更新され、４月から料金体系が「八幡山の洋館を対象施設に追加」、「無料時間帯（認証あり）を入庫60分以内から90分以内に延長」に変更されます。

また、市の使用料収入は現在の年額３２４万円から５３４万円に増額されます。

市は年間の駐車場収入を約３１００万円と予測しました。無料時間30分拡大による減収分６００万円と事業者の維持管理費１４３５万円を引くと１０６５万円ほどが利益となり、その約半分の５３４万円が市の使用料収入になります。

現在の市役所・文化ゾーン駐車場の料金表

## 一社との協議だけで使用料の算定は妥当か

無料時間帯の延長や市の使用料収入の増加は市民にとっても喜ばしいことですが、事業者の選定にあたっては、事業者から提案された実施要領に「次期は、現在の運営事業者とまずは競技する」という規定があるため、タイムズ24、一社と協議しただけでした。これでは使用料の算定が妥当であるかどうか分かりません。また、使用料の算定を担当課のみで決定できてしまう点にも不透明さを感じます。

他の事業者との協議や見積もり合わせを行い、もっと市民の利益を上げるべきと考えます。

## 地域内経済循環の向上を

当初の事業提案では、市内の事業者が市への使用料を高く提示したにもかかわらず採用されませんでした。市内の事業者であれば、駐車場の収入は市内で循環し、回り回って市民所得に結びつく可能性が十分ありますが、市外の事業者では、市外に流出してしまいます。

行財政改革において、地域内経済循環の向上を図るよう求めます。

## 地域の方々にスノーボードを指導

私は長年、スノーボード競技（アルペン）に取り組んできました。プロやインストラクターの日本代表である「デモンストレーター」になった経験を活かして、現在は、ろう者のオリンピックである「デフリンピック」の日本代表コーチや地域の方々に指導しています。

２月5日には平塚のスキークラブ「湘南雪だるま」で指導をしました。

ろうの子どもたちに手話で教える様子

## 後援会のご案内

渡部りょうを応援してくださる後援会員を随時募集しています。

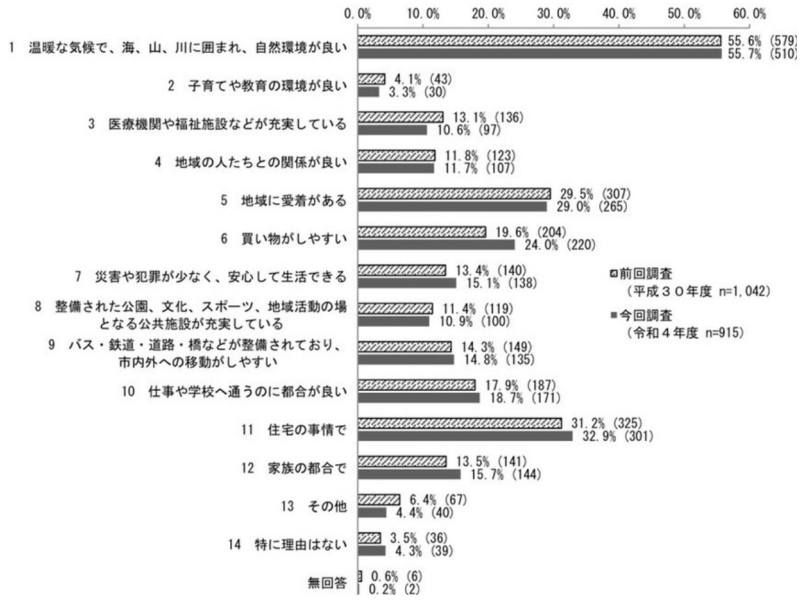
後援会にご入会いただいた皆様には、市政報告（無料）の送付、および後援会行事のご案内をさせていただきます。

市政報告の配布やポスター掲示のご協力も大歓迎です。

皆様からのご入会を心よりお待ちしております。

TEL 0463-79-8497
FAX 0463-79-8498
Mail info@watanabe-ryo.net

# 住み続けるが約9割。理由は温暖な気候と自然環境 平塚市市民意識調査



住み続けようと思う理由（2022年度平塚市市民意識調査）
https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/tokei/page-c_02354.html

昨年9月に実施された「平塚市市民意識調査」の結果が公表されました。満16歳以上の平塚市民３０００人が住民基本台帳より無作為で選ばれ、有効回収数は１０１９件（34％）でした。

居住意向は約9割の方が「住み続ける」または「たぶん住み続ける」と回答しました。

住み続けようと思う理由としては「温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」（55・7％）で前回同様1位でした。

しかし、のどかな田園風景は倉庫群に変わり、海岸の樹林帯の一部が伐採されようとしています。

市民の多くが、温暖な気候や自然環境を平塚の魅力として認識しています。これらの豊かな環境を、すべての市民が享受し、将来の世代へも継承できるバランスのとれた開発をすべきと考えます。

## 住民サービスに関わる項目は減少

また、４年前の調査から最も変化があったのは、４・４ポイント増加した「買い物がしやすい」でした。

一方で、「医療機関や福祉施設などが充実している」が２・５ポイント減少、「子育て環境や教育の環境が良い」が０・８ポイント減少、「整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している」が０・５ポイント減少しました。

地方自治法には「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と規定されています。つまり、「住民サービスの向上」のために自治体は存在しているにもかかわらず、これらの項目が減少していることが気がかりです。

※結果報告書は、市ホームページで閲覧できる他、各公民館、各図書館、駅前市民窓口センター、市政情報コーナーなどで閲覧できます。

開発予定の海岸の樹林帯

## スターライトマネー３年間延長決定

物価高騰などの対策として、ひらつか☆スターライトマネー・マーレの３年間の事業継続が決定しました。

スターライトマネーの還元率は毎月10万円まで3％となります。

マネーのチャージ方法は、利用者の利便性の向上のため、従来の販売店の他にアプリ内から直接クレジットカードでチャージできる方法が導入されます。

現在の現金でのマネーのチャージ方法では、キャッシュレス決済とは言えませんでしたので、改善され利用しやすくなります。

２０２３年度は還元率引き上げキャンペーンの実施も検討されているようです。これまでは国の交付金を活用できましたが、今後は市の一般財源を使いますので、より一層の費用対効果が求められます。

## がん集団検診オンライン予約開始

私が２０１９年６月定例会で質問して以来、度々要望してきました、がん検診のオンライン予約が２０２３年４月から一部の集団検診で開始されることになりました。

がん集団検診を受ける方はまだまだ年配の方が多いため、電話や窓口での受付が主となりますが、オンライン予約により、忙しい現役世代にもがん検診を受けやすい環境が整備されます。

何もないことが一番ですが、万が一がんが見つかっても早期発見・早期治療ができれば、ＱＯＬ（生活の質）を落とすことなく生活し続けることができます。自覚症状が出てからでは遅いケースがほとんどなので、定期的にがん検診を受けましょう。

今後もデジタル化による利便性の向上を要望していきます。